
PRESS RELEASE

2019 年 5 月 13 日 ロンドン

世界のプラチナ市場は第 1 四半期に記録的な投資需要を受け、余剰は縮小する見通し

- 2007 年の ETF 登場以来、プラチナ ETF の四半期成長は最高
- 南アの鉱山供給はパイプラインの在庫放出により季節的に好調
- WPIC のレポート発行開始以来、四半期の不足は最大

2019 年 5 月 13 日 ロンドン：The World Platinum Investment Council（WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル）は、本日、*Platinum Quarterly* 第 19 号の出版を発表しました。これは同機関が独自に実施し、無料で提供される世界プラチナ市場に関する四半期毎の分析です。本レポートには、プラチナ需給に関する 2019 年度第 1 四半期の分析、2019 年度通期の予想および 2018 年度の結果に関する修正が記載されています。

本日発表されたレポートでは、旺盛な投資需要が自動車および宝飾品セグメントの需要の減退を相殺するため、2019 年のプラチナ総需要が大幅に増加することが示されています。投資需要の増加を牽引しているのは、ETF による保有の急増で、今年第 1 四半期に四半期としては最大の 21 トン増加しました。第 1 四半期の需要は、2018 年に累積していた精練業者のパイプライン在庫から精練プラチナが放出された堅調な鉱山供給を大きく上回りました。その結果、第 1 四半期の不足は、WPIC が 2014 年にレポートの発行を開始して以来最大の 17 トンとなりました。

2019 年第 1 四半期の自動車需要は前年比で減少しましたが、減少率は引き続き低下しています。これは、新型のディーゼル車が排出する窒素酸化物は極めて低水準であるとの独立した証左が出てきたことや、CO₂ 排出量が少ないためです（自動車メーカーにとって EU の CO₂ 目標を達成することで多額の罰金を回避する上で重要）。

第 1 四半期の宝飾品需要は前年比で減少が続きました。中国の継続した需要減が、他の全地域における増加を上回ったためです。2019 年第 1 四半期の工業需要は、2018 年第 1 四半期に比べると若干減少しました。化学触媒におけるプラチナ需要の成長が、ガラス製造およびその他の工業需要セグメントの需要の減少によって相殺されました。

2019 年のプラチナの世界総需要は、投資需要の大幅な増加を背景に 8%増加すると予想されています。また、供給は 4%増加すると予想されています。ただし、南アフリカにおける停電およびストライキの可能性は、今年の鉱山供給が大幅に減少するリスクを示しています。需要は供給を上回って伸びると予想されており、2019 年の市場の需給は、従来予想の 21 トンの余剰から 12 トンの余剰へと急激に縮小します。

PRESS RELEASE

2019 年 5 月 13 日 ロンドン

WPIC の最高経営責任者ポール・ウィルソンは以下のように述べています：「本日のレポートは、大幅な投資需要の成長を示しています。これは、プラチナ需要の成長可能性が、ようやく長期にわたって続いていたネガティブなセンチメントを乗り越えることを示唆しています。市場は以前、排気ガス抑制によりガソリン車で使用されるプラチナが増加し、環境に配慮した新型のディーゼル車がより多く販売される可能性がプラチナ需要にもたらす強いポジティブな影響を過小評価していた節があります。

本日のデータは、非常に重要なロンドンの年次プラチナウィークの開始時に公開しています。何年も期待されていたながら実現していなかった、投資家による需要の増加は、大半の参加者が注目するアジェンダとなるでしょう。この転換は、複数の需要成長の兆候、供給リスクの低下、価格上昇をもたらしたものだと考えられます。」

世界のプラチナ市場における成長機会は、引き続き減少することはないでしょう。特に米国と中国において、プラチナ投資を増加させるために WPIC との協力を意欲を示す世界の主要プレイヤー数は順調に伸びています。

「Platinum Quarterly」最新版のダウンロードおよび／または今後調査結果を無料でお受取りになるための登録については、WPIC のウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

-以上-

PRESS RELEASE

2019年5月13日ロンドン

2019年度第434半期干ば

	2016	2017	2018	2019年度 干ば	2018年度 干ば/2017年 度底底率 [%]	2019年度 干ば/201 8年度底底 率 [%]	2018年度 第434半 期	2019年度 第434半 期	2019年度 第434半 期
プラチナ供給バランス (トナ)									
供給量									
供給高	188	191	190	199	0%	5%	40	49	47
南アフリカ	132	136	139	146	2%	5%	28	36	34
ジンバブエ	15	15	14	15	-3%	1%	4	4	3
北米	12	11	11	12	-3%	13%	3	3	3
ロシア	22	22	21	21	-8%	1%	4	5	5
その他	6	6	5	5	-6%	3%	1	1	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+1	+1	+0	-1	-100%	N/M	-0	-1	+0
鉱山からの総供給量	189	191	190	198	-1%	4%	40	48	48
リサイクル									
自動車燃焼	57	59	60	62	2%	3%	14	15	15
自動車燃焼	38	41	44	47	7%	5%	10	12	11
宝飾	19	17	16	15	-9%	-3%	4	4	4
工業	0	0	0	0	0%	0%	0	0	0
総供給量	246	250	250	260	0%	4%	54	63	63
需要									
自動車	108	103	97	94	-6%	-3%	25	24	24
自動車燃焼	103	99	92	89	-7%	-3%	24	23	23
ノンロード	4	4	5	5	4%	3%	1	1	1
宝飾	78	77	73	72	-4%	-2%	19	19	17
工業	55	53	59	59	12%	-1%	15	15	15
化学	17	18	18	19	-3%	7%	5	4	5
石油	7	3	7	7	140%	0%	2	2	2
電気	6	6	6	6	-3%	0%	2	2	2
ガラス	6	6	7	7	30%	-13%	2	1	2
医薬	7	7	7	7	2%	0%	2	2	2
その他	12	12	13	12	6%	-6%	3	4	3
投資	17	9	0	24	-95%	N/M	2	-2	24
地金、コインの増減	14	7	9		30%		3	2	2
ETF保有高の増減	0	3	-8		N/M		0	-4	21
取引所在庫の増減	3	-1	-1		-56%		0	0	0
総需要量	258	241	230	249	-5%	8%	60	56	80
過剰量	-12	9	21	12	131%	-44%	-6	8	-17
地上在庫	129*	59	68	100	31%	13%			

PRESS RELEASE

2019年5月13日 ロンドン

メディア関連のお問い合わせ先 : Kekst CNC

Simren Priestley

+44 203 7551 670

wpic@kekstcnc.com

編集者への注記 :

Platinum Quarterlyについて

Platinum Quarterly は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される史上初のレポートです。*Platinum Quarterly* は World Platinum Investment Council の出版物です。これは主に、白金族金属市場において権威のある独立機関の SFA Oxford (SFA) に依頼し、実施された調査および詳細な分析に基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンシル) (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた製品開発を通して、プラチナに対する世界的な投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Lonmin (ロンミン)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター) です。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。 www.platinuminvestment.com

WPIC事務局住所 : 64 St James's Street, London, SW1A 1NF

SFA (Oxford) について

PRESS RELEASE

2019年5月13日 ロンドン

SFA（Oxford）は2001年に設立され、白金族金属市場において最も重要な権威のある独立機関の1つであるとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全性は、鉱山から、市場、リサイクルに至るコンサルティング業務、並びに他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFAは、広範かつ多岐にわたる業界知識を有し、それぞれがバリュー・チェーンの主要分野を専門領域としている専属のPGMアナリスト9名、および世界各地を拠点とする多くの提携スタッフで構成されています。SFAは、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

データまたは論評のいかなる部分も、著者による書面での許可なしに、資本市場（資金調達）へアクセスする特定の目的のために使用することはできません。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください：<http://www.sfa-oxford.com>

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の72%～78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の41%から43%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の22%となっています（過去5年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の33%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去5年間で最も変化が大きく、総需要の0%から6%を占めています（地上在庫の増減を除く）。

PRESS RELEASE

2019 年 5 月 13 日 ロンドン

免責事項

World Platinum Investment CouncilおよびSFA（Oxford）のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。 www.platinuminvestment.com